

「名寄川地区かわまちづくり」に向けた取り組み



平成30年 2月 1日 旭川開発建設部

「名寄川地区かわまちづくり」 第1回WGの進め方

◆平成30年度以降の取り組み

利用促進となる効果的な整備内容、さらに利用者が地域のお店、観光施設に流れるようなPRや地域と連携方法についてワーキンググループでの意見を聞きながら進めていきたい。

第1回WG（平成30年2月1日）

◆本日、ご意見を頂きたい内容

- (1) サイクリングコースとして必要な整備内容
- (2) 地域との連携方法
- (3) PR方法
- (4) その他

ワークショップ形式で議論

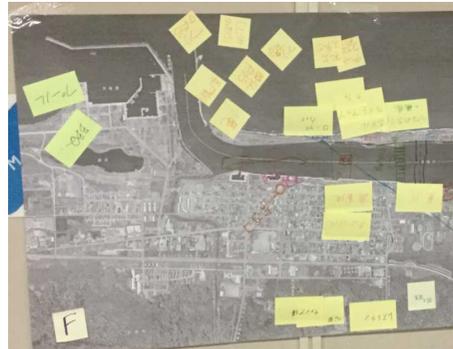
①ワークシートに意見を記入した付箋を張り出す。



②意見内容をグループ化する。



③グループ毎に各意見に対する今後の対応方針を議論する。



◆現地の試走確認を含め年3回程度のWGを開催予定

現地試走(名寄川沿い)

平成29年6月17日開催

- ◆ 地元自治体、地元関係者、事業者により、名寄川沿いのサイクリングコースの状況を確認する目的で試走を実施
- ◆ 築堤場の砂利舗装区間は、国道を走行(全体で約20km)
- ◆ 名寄市・下川町職員、なよろ観光まちづくり協会、しもかわ観光協会、下川リンリン倶楽部、旭川開発建設部職員サポートメンバー(委託業者)総勢30人の参加により現地状況を確認。



現地試走後のアンケート

平成29年6月17日開催

- ◆ 走行終了後、確認ポイントに対する意見、試走の感想、サイクリングコース整備への意見をうかがうアンケート調査を実施
- ◆ 調査票を配布し、後日郵送により回収（回答数：11人）

【アンケート結果—主な意見】 ※（ ）内は類似意見の件数

確認ポイントについての意見、感想

①下川町内への誘導

- 砂利道の舗装（3）
- 分断箇所に横断施設（3）
- 案内看板、誘導ラインによる表示（3）

②下川ペンケ川合流部

- 国道を迂回せずに堤防を通る、横断施設が必要（8）

③休憩施設

- 提案の位置に賛成（3）
- 休憩施設が必要、休憩施設の内容に言及する等、休憩施設整備を肯定する意見（6）

④支川合流部

- 横断施設が必要（6）

⑤国道との重複箇所

- 国道に出ないよう、高水敷への自転車道整備（4）
- 国道に出る場合は、注意喚起の看板が必要（6）

今回の試走コース全般についての意見、感想

- 築堤上の走行は、走りやすかった（3）
- 国道の走行は危険（2）
- 国道の走行は、石や砂利があり走りづらい（1）
- 20kmの走行は、予想より疲れなかった（2）
- 整備完了後も、試走会を継続すべき（1）
- 「かわまちづくり」は域外から来たサイクリストをいかに町内に呼び込むかの視点が必要（1）
- 域内の人々が、自動車から自転車に、日常の手段として転換できるような視点も必要（1）

今後のサイクリングコース整備にあたっての意見、感想

- サイン類の整備（3）
（距離表示、走行場所の明示、看板整備など）
- 国道を通らず川辺を走る（4）
- 除草や巡視等の維持管理が必要（2）
- 名寄～下川間の一の橋地区まで拡大（1）
- トイレ、給水施設の整備（1）
- 堤防上は、自転車専用のサイクリングロードでないことの周知と、事故防止が必要（1）
- いろいろなサイクリングコースで、街中の観光地や名所に誘導できるようなルートになるとよい（1）

美瑛川地区かわまちづくりワーキンググループ(WG)の事例

WG開催状況

コースを自転車等で試走し**休憩施設の位置、案内看板や誘導ラインの設置位置やデザインなどを確認し、意見交換を実施。**



案内看板の設置位置やデザインを確認



誘導ライン案



美瑛川地区かわまちづくりワーキンググループ(WG)の事例

WG開催状況

Biei River-Blue Pond Cycling Course

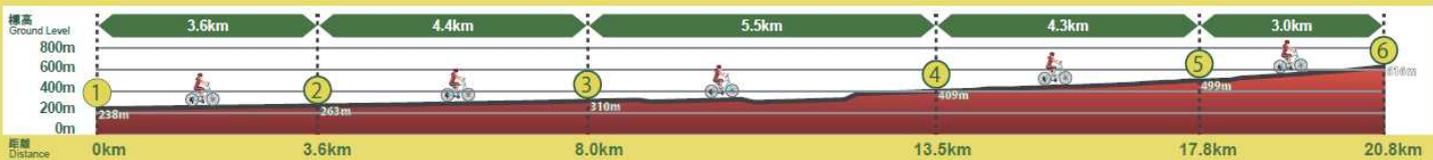
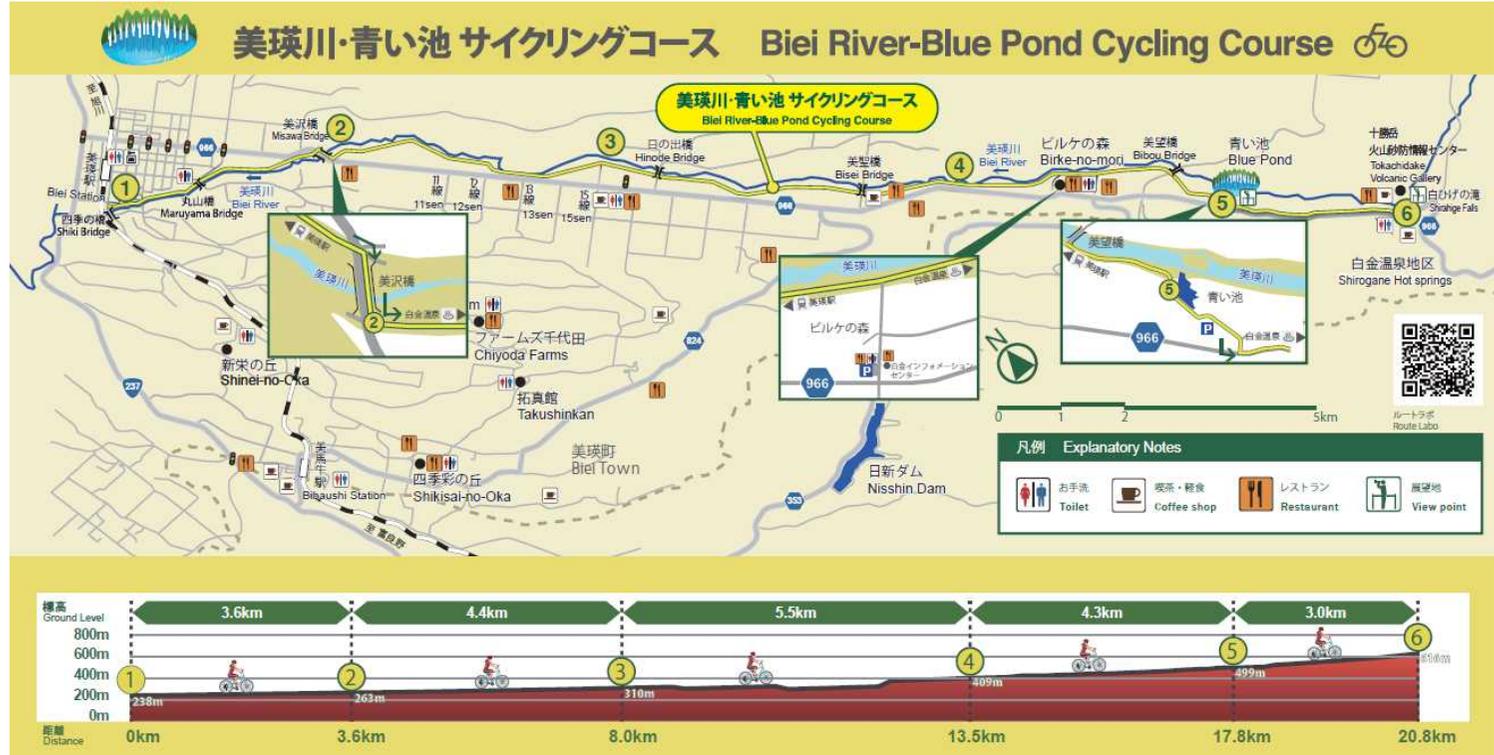


Biei station → Blue Pond → Shirogane Hot springs

20.8km



2017.11
発行：美瑛川地区かわまちづくりWG事務局
美瑛川地区かわまちづくりWG事務局



サイクリングマップの掲載範囲、内容などについて意見交換を実施し作成。さらに現地も試走し記載内容の確認も行っている。

見どころいろいろ美瑛川

美瑛川 Biei River 長さ6.7km(流域面積237.7km²)
長さ6.7km(流域面積237.7km²)
美瑛川は十勝の雄峰のツリガサ山を源流とし、白滝湖、美瑛湖を経て、池田市の見本林の下流で志賀川と合流します。美瑛川は活火山である十勝岳の御影湖が源流とされており、青い池はこの湖の一端です。
The source of the Biei River is the mountain range Shirogane Mountain. Shirogane Mountain, and joins the Chibetsu River at Akaikawa. This river has Sato facilities (Emission control facility). The blue pond is part of this facility.

青い池 Blue Pond 美瑛川の18km
18km(流域面積11.1km²)
火山の御影湖湖床で強制的に発生した地すべり、白濁湖の上流にある「御影湖」や「白ひげの滝」等からのアルミニウムを溶んだ地下水と美瑛川の水が混ざり発生したコロイド粒子が太陽光を反射し、池の水が青く見えるとされています。
Shirogane Blue Pond was made by accident in the by-product of attempts to control mudslide. Alumin that has seeped into the water scatters the sunlight causing the pond to look blue.

白ひげの滝 Shirahige Falls 美瑛川の21km
21km(流域面積11.1km²)
湖の中でも数度の「滝」(せりりょうぼく)と呼ばれる珍しいタイプの滝で、湧き上がった地下水の途中より勢よく滝に流れ落ちて滝となっています。
Underflow water flows down out of the crack in the rock wall in one of the near waterfalls in Japan.



美瑛川 青い池 サイクリングコース Biei River-Blue Pond Cycling Course

レンタサイクル Bicycle rental

- 手野商店 Unos Shoten 0156-92-1851
- Guided Cycling Team 美瑛 090-5956-4567
- 美瑛サイクル Tomihime Cycle 0156-92-3448
- 幸島商会 Tomihime Shoten 0156-92-3191
- 松浦商店 Matsura Shoten 0156-92-1141
- 美瑛町役場 Town Office 090-3268-1145

美瑛川地区かわまちづくりの事例 ～ サイクルサポートの取り組み ～

◆地元観光協会と連携し、周辺施設へ利用者が流れる仕組みの一つとして利用者サポート体制構築のため周辺16のお店や施設にサイクルラックなどを設置する社会実験を実施。その有効性が確認されお店の情報やサポート内容を確認できるサイトを地元観光協会が制作。
(アンケートは、160名からの回答を頂きました。)

社会実験の内容

期間：平成28年7月15日(金)～8月21日(日)
実施場所：美瑛町内の13店舗、3施設 ※MAPを参照してください
実施内容：サイクルラック、空気入れ、工具が無償で利用できます

空気入れ・工具



アンケート



タペストリー



カフェ・レストラン「バーチ」



お店へのヒアリング状況

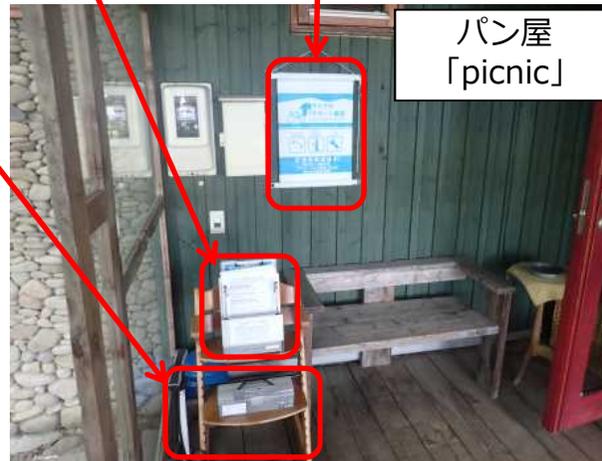
景勝地「北西の丘」



サイクルラック
CYCLE RACK

自転車のサドルをかけて
駐輪できます。
ご自由にお使いください。
※危ないので、ぶら下がったり、
登ったりしないでね。

パン屋
「picnic」



お店のサポート情報

地神宮
美瑛町立美沢小
美沢神社

Mustache Boss

説明

- バイクラック [BIKE RACK]: NO
- 給水 [Drinking Water]: YES
- トイレ [Restroom]: YES
- 休憩所 [Rest area]: YES
- 空気入れ [Air Pump]: YES
- サイクルサポート情報 [Tourist Info]: NO
- 工具 [tools]: YES
- 充電 [Battery charging]: Unknown
- ワイヤル [WiFi]: Unknown
- クレジットカード [Credit Cards Accepted]: Unknown
- チューブ販売 [Tires & Tubes for sale]: Unknown
- 買取・発送 [SHIPPING]: Unknown
- ラブル回収サービス [SEVICE]: Unknown

美瑛川地区かわまちづくりの事例 ～ 美瑛町親子体験試走会 ～

◆実施目的

- ① 地域住民に取り組みを広くPR。
- ② 参加者にコースの整備内容やサイクリングマップについて意見を頂く。
- ③ 体験試走会の状況を動画撮影しPR動画を制作する。

◆WGの意見

- ・楽しかったのでH30も実施しよう。
- ・お昼に野菜も食べたいので地元野菜の収穫体験をしよう。



お昼に食べるパンを手作り。



森林散策

地元ネイチャーガイドによる白ひげの滝と白金温泉原生林の森林散策



秋晴れの中、美瑛川や十勝岳連峰などの景色を楽しみながらサイクリング！！

紅葉がきれいなビルケの森で昼食。手作りパンに地元ソーセージなどをはさめ大満足！



青い池



白金インフォメーションセンター～ビルケの森で昼食～

美瑛川地区かわまちづくりの事例 ～ PR動画 ～

サイクリングコースのPR動画をYouTubeや美瑛観光協会HPで公開し、広くPRを実施する。

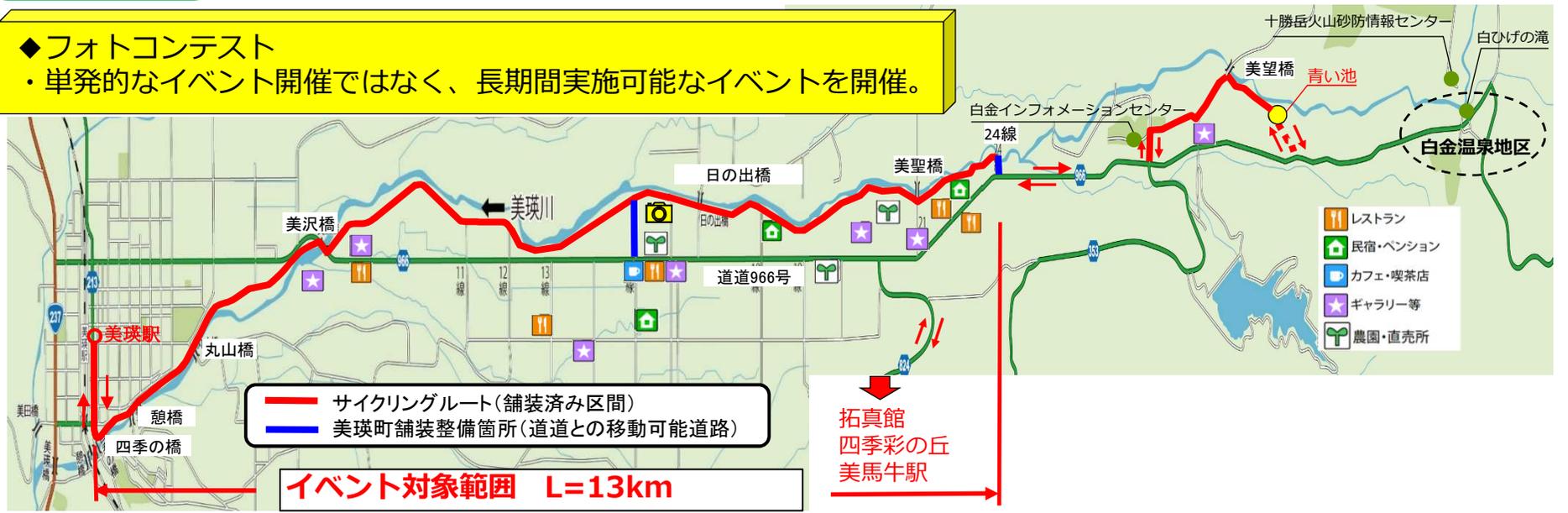


美瑛かわまち平成30年のPR取り組みについて

- ◆目的：美瑛サイクリングコースPRと沿線施設の利用促進、利用状況・整備効果を把握するため実施。
- ◆内容：フォトコンテストとして、対象範囲の「景観やサイクリング写真」「周辺施設を利用した際の写真」「アンケート回答」を応募条件とし優秀な作品には地元農産物などの景品をプレゼントする。
(写真は、HP等でも活用する。)
- ◆期間：平成30年7月から9月の3ヶ月間（優秀な作品を選定し景品をプレゼント。）

対象範囲

- ◆フォトコンテスト
 - ・単発的なイベント開催ではなく、長期間実施可能なイベントを開催。



写真のイメージ



【情報提供】サイクルツーリズムの取り組み背景

○試行ルートの紹介

- ◆北海道開発局では、「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討会」を平成29年2月24日に設立。
- ◆試行ルートを設定し、全道5ルートで試行を実施。

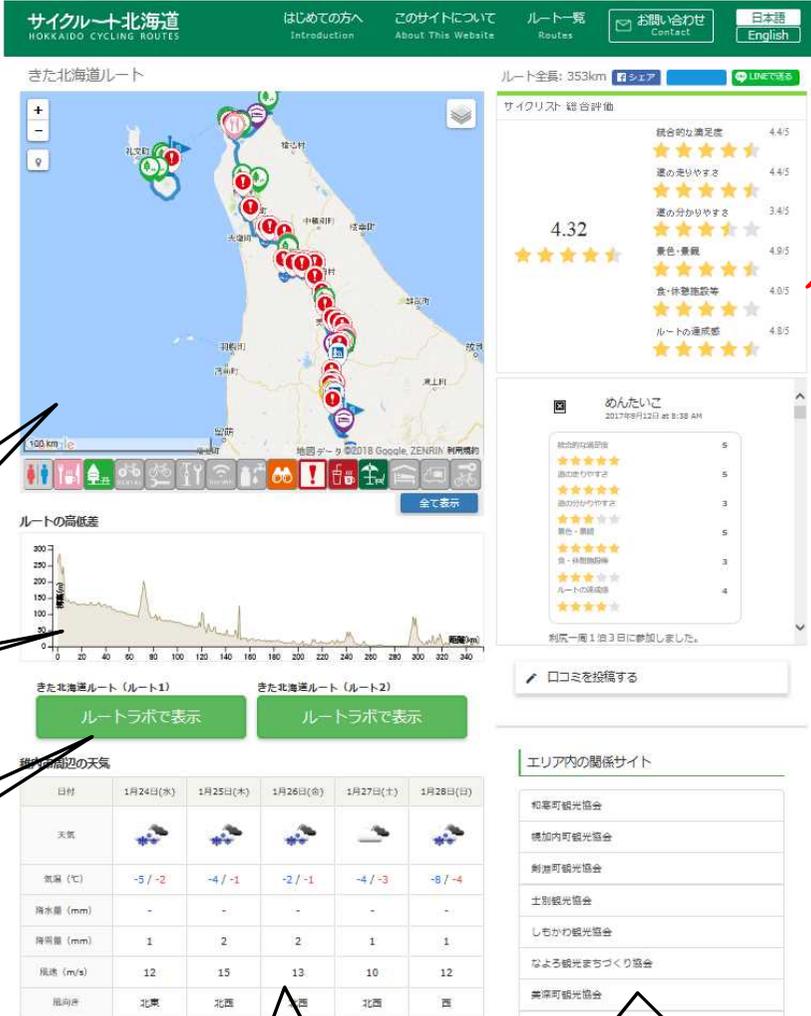


【参考】検討会委員

- | | |
|-------|---|
| 菅井 貴子 | 気象防災キャスター |
| 高橋 清 | 北見工業大学 教授 |
| 萩原 亨 | 北海道大学大学院 教授 |
| 原文宏 | シーニックウェイ支援センター 代表理事 |
| 宮内 忍 | NPO法人日本風景街道コミュニティ
サイクルツーリズム研究委員会顧問
(元サイクルスポーツ編集長) |
| 屋井 鉄雄 | 東京工業大学 副学長 |

【情報提供】北海道におけるサイクルツーリズムの取り組み

【コミュニケーションサイトの公開】 <https://cycle-hokkaido.jp/>



英語表示
切り替え

サイクリスト
からの投稿

■ 実際に投稿された口コミ



意見を参考に
改善点を検討



トイレ等
施設の表示

高低差の
標示

ルートラボで
GPSと連動

ルートに案内表示
シールを設置

天気予報の
表示

エリア周辺の関連情報、
サイトへのリンク

